

SHARP[®]

クラウド連携ガイド



もくじ

本書の記載内容について	2
クラウドコネクタについて	4
• クラウドコネクタを使用する	4
GmailやExchangeからスキャンデータを送信する (E-mailコネクタ機能)	7
• Gmailコネクタ機能について	7
• Exchangeコネクタ機能について	8
• 設定画面について	9
クラウドコネクタやE-mailコネクタの設定を行う	11
• クラウドコネクタやE-mailコネクタを有効にする	11
• コネクタの初期設定を変更する	11
Application Portalについて	14
• Application Portalを使用する	14
• Application Portalの画面について	16
• アプリケーションの詳細を確認する	17
• アプリケーションをインストールする	18
• アプリケーションをアップデートする	19
• Application Portalの設定を行う	20

本書の記載内容について

このガイドは、複合機にインストールされたコネクタアプリケーションを用いて、各種のクラウドサービスと連携してデータをやり取りする方法について記載しています。

お願い

- このガイドではこの製品をご使用いただくにあたり、導入者および利用者がお使いのコンピューターや Web ブラウザーについて実用的な知識を持っていることを想定して説明しています。
- OS (オペレーティングシステム) や Web ブラウザーに関する事からについては、必要に応じて OS や Web ブラウザーのガイドまたはヘルプ機能を参照してください。
- このガイドでは、画面の説明や操作手順は、Internet Explorer® を使用して説明しています。OS のバージョンや使用される Web ブラウザーにより表示される画面が異なることがあります。
- このガイドで xx-xxxxx と記載しているところは、“xx-xxxxx” にお使いのモデル名を入れてお読みください。
- この取扱説明書は、お使いのモデル以外の製品についての一般的な説明を含みます。お使いのモデルでは、利用できない機能についての記載も含んでいますので、ご注意ください。
- このガイドは内容について十分注意し作成しておりますが、万一ご使用中にご不審な点・お気づきのことがありましたら、スタートガイドに記載のシャープお客様ご相談窓口までご連絡ください。
- この製品は厳重な品質管理と検査を経て出荷しておりますが、万一故障または不具合がありましたら、お買いあげの販売店、またはスタートガイドに記載のシャープお客様ご相談窓口までご連絡ください。
- お客様もしくは第三者がこの製品および別売品の使用を誤ったことにより生じた故障、不具合、またはそれらに基づく損害については、法令上の責任が認められる場合を除き、当社は一切その責任を負いませんので、あらかじめご了承ください。

ご注意

- このガイドの内容の全部または一部を、当社に無断で転載、あるいは複製することを禁止します。
- このガイドの内容は、改良のため予告なく変更することがあります。

本文中で説明しているイラスト、操作パネル、タッチパネル、Web ページ設定画面について

周辺装置は基本的に別売品ですが、お買いあげいただいた複合機の種類によっては、一部標準装備されているものもあります。

複合機の機能や使いかたを説明するために、一部説明と異なる周辺装置の装着状態で説明している場合があります。この取扱説明書では、ファクス機能やインターネット Fax 機能が使用できる前提で説明しています。しかし、モデルによっては、ファクス機能やインターネット Fax 機能がない場合があります。内容によっては、モデルや周辺装置の装着状況によって使用できない場合があります。詳しくは、ユーザズマニュアルを参照してください。

ガイドに記載している操作画面、表示されるメッセージ、キー名称などは改良変更などにより実際の表示と一部異なる場合があります。あらかじめご了承ください。
ガイドで説明している内容は、フルカラー複合機を使用した状況で説明しています。
内容によっては、モノクロ複合機で使用できない内容があります。

クラウドコネクター機能に関連する注意事項

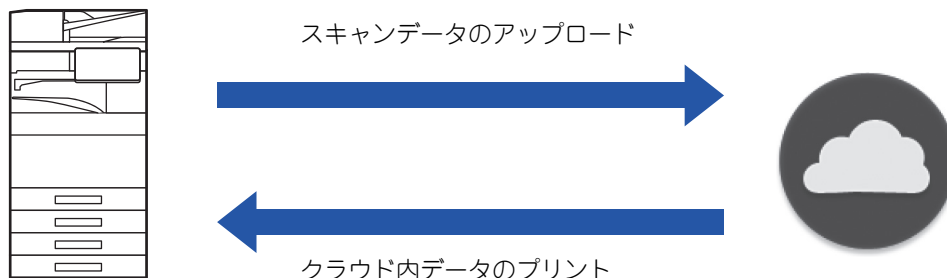
- クラウドコネクター機能を使用したプリント結果は、他のプリント方法（プリンタードライバーなど）のプリント結果と同様の品質にならない場合があります。
また、ファイルの内容によっては、正しくプリントされないことや、プリントできないことがあります。
- デジタル複合機を利用する国と地域によっては、クラウドコネクター機能の全部または一部がご利用になれない場合があります。
- デジタル複合機を利用するネットワーク環境によっては、クラウドコネクター機能をご利用できない場合があります。また、ご利用になれる場合でも、処理に時間がかかる場合や、または途中で途切れる場合があります。
- 当社は、クラウドコネクター機能の継続性、接続の安定性などについて、一切保証いたしません。
またこれにより、お客様に生じた損害については、法令上の責任が認められる場合を除き、当社は一切その責任を負いませんので、あらかじめご了承ください。

Application Portalに関連する注意事項

- デジタル複合機を利用する国と地域によっては、Application Portalへの接続機能の全部または一部がご利用になれない場合があります。
- デジタル複合機を利用するネットワーク環境によっては、Application Portal機能をご利用できない場合があります。また、ご利用になれる場合でも、処理に時間がかかる場合や、または途中で途切れる場合があります。

クラウドコネクターについて

クラウドコネクター機能は、インターネット上のクラウドサービスと複合機を接続して、スキャンデータのアップロードや、クラウド内データのプリントを行う機能です。



接続可能なクラウドサービスは以下の通りです。

- **Google Drive** : Google社が提供するオンラインストレージサービス
ユーザーのGoogleアカウントで認証します。
- **Microsoft OneDrive®** : 「Microsoft 365」サービス内のストレージサービス
Microsoft 365標準のID/パスワード認証方式用のユーザーアカウントでのみログインできます。
Microsoft OneDrive for Business対応（無償版OneDriveはサポートしていません）
- **Microsoft SharePoint® Online** : 「Microsoft 365」サービス内のポータルサービス
Microsoft 365標準のID/パスワード認証方式用のユーザーアカウントでのみログインできます。
サブサイト、カスタムライブラリ、ドキュメントプロパティ（メタデータ）に対応しています。

クラウドコネクターを使用する

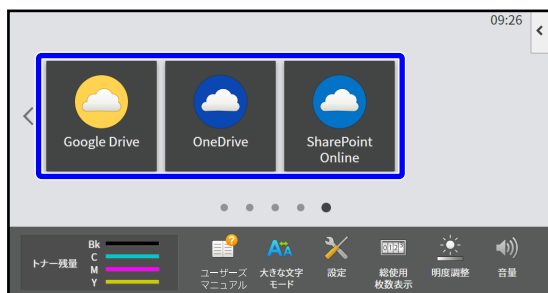


クラウドコネクター機能を使用する前に、あらかじめ「[クラウドコネクターやE-mailコネクターの設定を行う（11ページ）](#)」にある設定を行ってください。

スキャンデータをアップロードする

複合機でデータをスキャンし、そのデータをクラウドサービスにアップロードできます。

1



ホーム画面の [Google Drive]、[OneDrive] または [SharePoint Online] キーをタップする

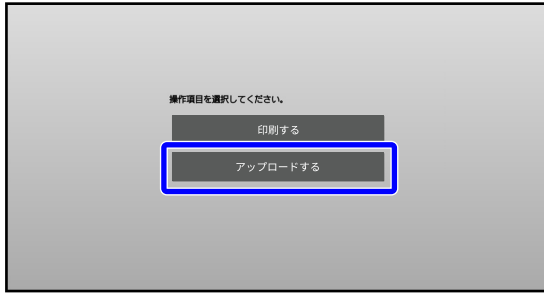
- 各クラウドサービスのログイン画面が表示されます。
- 複合機のユーザー認証を有効にしている場合、一度クラウドサービスのログインに成功すると、2回目以降はログイン画面は表示されません。（ユーザー側でパスなどを変更した場合は、再度ログインする必要があります。）
- OneDrive / SharePoint Onlineの場合、Microsoft 365標準のID/パスワード認証方式用のユーザーアカウントでのみログインできます。

2

各クラウドサービス用のユーザーアカウント情報を入力する

操作項目を選択する画面が表示されます。

3



[アップロードする] キーをタップする

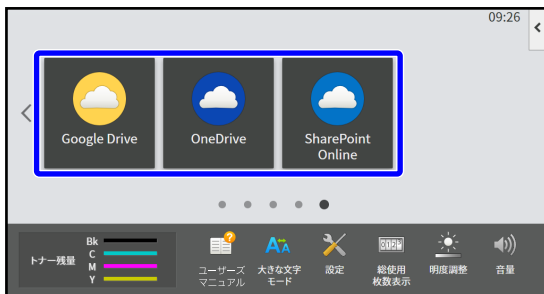
4

スキャンまたはプレビューを実行する

データをプリントする

クラウドサービス内のデータを複合機で印刷できます。

1



ホーム画面の [Google Drive]、
[OneDrive] または [SharePoint
Online] キーをタップする

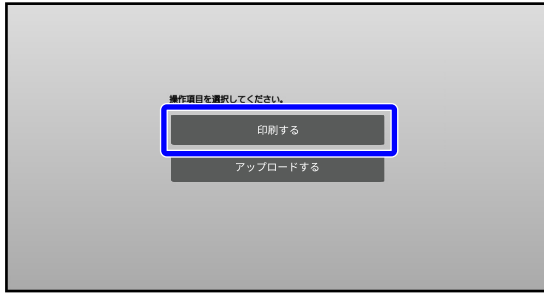
- 各クラウドサービスのログイン画面が表示されます。
- 複合機のユーザー認証を有効にしている場合、一度クラウドサービスのログインに成功すると、2回目以降はログイン画面は表示されません。
(ユーザー側でパスなどを変更した場合は、再度ログインする必要があります。)
- OneDrive / SharePoint Onlineの場合、Microsoft 365 標準のID/パスワード認証方式用のユーザーアカウントでのみログインできます。

2

各クラウドサービス用のユーザーアカウント情報を入力する

操作項目を選択する画面が表示されます。

3



【印刷する】 キーをタップする

ファイル選択画面が表示されます。

- ファイルを選択し、[設定を変更して印刷] キーをタップすると、プリント設定画面が表示されます。
- プリント可能なファイル形式は、PDF※1、PS※1、PRN、PCL、TIFF、TIF、JFIF、JPE、JPEG、JPG、PNG、DOCX※2、PPTX※2、XLSX※2です。

※1お使いの機種によっては、オプションのPS拡張キットが必要です。

※2お使いの機種によっては、オプションのダイレクトプリント拡張キットが必要です。

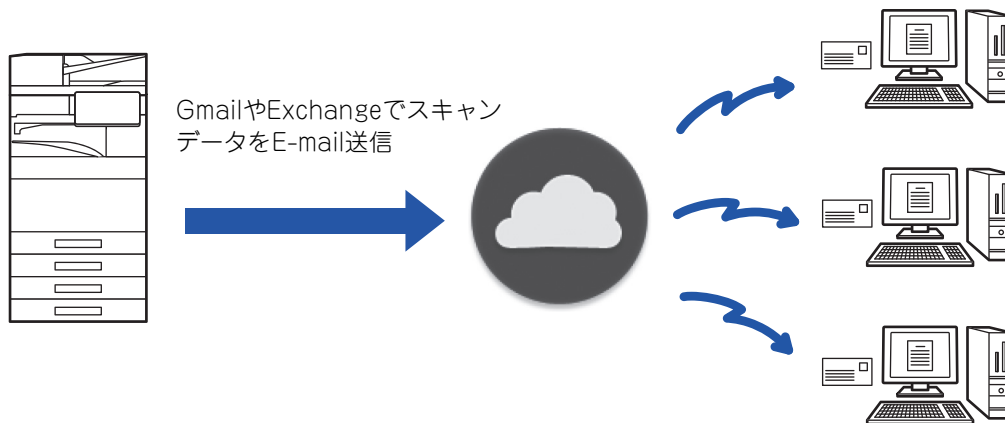
4

プリントを実行する

GmailやExchangeからスキャンデータを送信する（E-mailコネクター機能）

ここではGmailやExchangeを利用して、複合機からE-mail送信する方法について説明します。

この機能を使用すると、SMTPサーバーをたてることなく、ネットワークにつなげるだけでメール送信が可能になります。連絡先に登録された宛先を使用できるので、E-mailを入力したり、複合機のアドレス帳に登録する手間が省けます。検索すると、アカウントに登録された連絡先から、宛先を検索できます。



Gmailコネクター機能について

Gmailコネクター機能とは、Googleアカウントを利用して、スキャンデータをGmailサーバー経由でE-mail送信する機能です。

Gmailコネクター機能を使用するには、「***@gmail.com」の形式のGmailアドレスを持つアカウントでログインする必要があります。



Gmailコネクター機能を使用する前に、あらかじめ「[クラウドコネクターやE-mailコネクターの設定を行う（11ページ）](#)」にある設定を行ってください。

Gmailコネクター機能を使用してスキャンデータを送信する

ここでは、複合機でデータをスキャンし、そのデータをGmailでE-mail送信する方法について説明します。

1

ホーム画面の【Gmail】キーをタップする

Gmailのログイン画面が表示されます。

2

Googleアカウント情報を入力する

設定画面が表示されます。

3

送信する宛先とスキャンの設定を行う

宛先とスキャンの設定については、「[設定画面について（9ページ）](#)」を参照してください。

4

送信するスキャンデータのイメージを確認したいときは、【プレビュー】キーをタップする

5 [スタート] キーをタップする

送信したメールはGmailの「送信済み」で管理されます。

Exchangeコネクタ機能について

Exchangeコネクタ機能とは、Microsoft社が提供するExchangeサーバーやExchange Onlineを利用して、スキャンデータをE-mail送信する機能です。

接続対象は、「Microsoft Exchange Server 2010/2013/2016/2019」および「Exchange Online (クラウドサービス)」です。



Exchangeコネクタ機能を使用する前に、あらかじめ「[クラウドコネクタやE-mailコネクタの設定を行う \(11ページ\)](#)」にある設定を行ってください。

また必要に応じ、「[Exchange Online: 管理者の承認操作を行なう \(13ページ\)](#)」にある操作を行ってください。

Exchangeでスキャンデータを送信する

ここでは、複合機でデータをスキャンし、そのデータをExchangeでE-mail送信する方法について説明します。

1 ホーム画面の [Exchange Connector] キーをタップする

Exchangeのログイン画面が表示されます。

2 ExchangeサーバーやExchange Onlineへ接続するためのユーザー名とパスワードを入力する

設定画面が表示されます。

設定画面が表示されない場合は、「[Exchange Online: 管理者の承認操作を行なう \(13ページ\)](#)」にある操作を行ってください。

3 送信する宛先とスキャンの設定を行う

宛先とスキャンの設定については、「[設定画面について \(9ページ\)](#)」を参照してください。

4 送信するスキャンデータのイメージを確認したいときは、[プレビュー] キーをタップする

5 [スタート] キーをタップする

送信したメールはExchangeの「送信済み」で管理されます。

設定画面について


Gmailコネクター機能やExchangeコネクター機能の設定画面について説明します。

ここでは、送信先の設定、メールの件名、本文、添付するファイル名の入力、ログインしたアカウントの変更、スキャンデータの詳細な設定を行うことができます。

送信先の設定

- To、Cc、Bccの各テキストボックスに送信したい宛先を入力します。
複数の宛先を入力したい場合は、アドレスとアドレスの間をコンマで区切ってください。
また、アドレス帳から宛先を検索することもできます。
- 「設定（管理者）」 → 「システム設定」 → 「ファクス/イメージ送信設定」 → 「デフォルト宛先設定」で「デフォルト宛先」を設定し、かつその宛先がEmailアドレスの場合、コネクター起動時にその宛先が選択されています。
- 「マイアドレス検索」ボタンをタップすると、ログインしたユーザーのアドレス帳の中から自分のアドレスを検索し、選択することができます。

検索画面について

To、Cc、Bccの各テキストボックスの横にある  をタップすると、登録されている宛先を検索することができます。テキストボックスに検索したい文字を入力し、[検索開始] キーをタップすると、前方一致で該当した宛先をリストで表示します。リストで表示されている宛先は複数選択することができます。

また、宛先を検索するときに通常アドレス帳とグローバルアドレス帳を切り替えることができます。

再度、宛先を検索したいときは、テキストボックスに検索したい文字を入力し、[再検索] キーをタップします。



- Exchange Online接続時にグローバルアドレス検索を行うには、「[Exchange Online: 管理者の承認操作を行なう \(13 ページ\)](#)」にある操作を行ってください。
- Exchange Online接続時に通常アドレス帳で検索を行う場合は、アドレス帳内の宛先を500件程度にしてください。登録件数が多すぎると、検索結果が得られない場合があります。

宛先を確認する

[宛先一覧] キーをタップすると、送信する宛先がリストで表示されます。



リストではTo、Cc、Bccのそれぞれで宛先を確認することができます。

また、リストでは、設定された宛先を解除することができます。解除したい宛先を選択して、[削除] キーをタップすると、選択された宛先が解除されます。



リストで連絡先を選択した場合、その後の連絡先を直接入力することはできません。



To、Cc、Bccのそれぞれで宛先を入力すると、 が表示されます。 をタップすると、表示されている宛先がすべてキャンセルされます。

件名、本文、ファイル名の設定

メールで送るときの件名と本文、メールに添付するスキャンデータのファイル名を入力します。「保存先のリンクを送信」をチェックすると、スキャンデータは送信されずに、複合機のストレージに保存され、そのファイルのURLが宛先に送信されます。

ログインしているアカウントの変更

現在ログインしているGmailまたはExchangeのアカウントを変更することができます。

[別アカウントでログインする] キーをタップすると、GmailまたはExchangeのログイン画面が表示されるので、変更するアカウントのユーザー名とパスワードを入力します。

送信データの設定

[詳細] キーをタップすると、スキャンの詳細な設定が行えます。

詳細画面について

スキャンの設定は以下のとおりです。

項目	内容
カラーモード	自動、白黒2値、グレースケール、フルカラー
解像度	100x100dpi、150x150dpi、200x200dpi、300x300dpi、400x400dpi、600x600dpi
フォーマット	<p>【カラー/グレースケール】 タブ フォーマット PDF、高圧縮PDF※1、高圧縮PDF（高精細）※1、PDF/A-1a※2、PDF/A-1b※2、PDF/A※3、高圧縮PDF/A-1a※4、高圧縮PDF/A-1b※4、高圧縮PDF/A※1※3、高圧縮PDF/A-1a（高精細）※4、高圧縮PDF/A-1b（高精細）※4、高圧縮PDF/A（高精細）※1※3、暗号化PDF、暗号化/高圧縮PDF※1、暗号化/高圧縮PDF（高精細）※1、TIFF、XPS、TXT（UTF-8）※2、RTF※2、DOCX※2、XLSX※2、PPTX※2</p> <p>OCR設定※2 言語設定、フォント設定、画像の向き検知、ファイル名自動抽出、OCR精度</p> <p>圧縮率 低、中、高、少数色</p> <p>【白黒】 タブ フォーマット PDF、PDF/A-1a※2、PDF/A-1b※2、PDF/A、暗号化PDF、TIFF、XPS、TXT（UTF-8）※2、RTF※2、DOCX※2、XLSX※2、PPTX※2</p> <p>OCR設定※2 言語設定、フォント設定、画像の向き検知、ファイル名自動抽出、OCR精度</p> <p>圧縮形式 圧縮なし、MH(G3)、MMR(G4)</p>
原稿※5	<p>読込サイズ 自動 AB系タブ A5、A5R、B5、B5R、A4、A4R、B4、A3、216x340、216x343、長尺、はがき</p> <p>インチ系タブ 5-1/2"x8-1/2"、8-1/2"x11"R、11"x17"、5-1/2"x8-1/2"R、8-1/2"x13"、8-1/2"x13-1/2"、8-1/2"x11"、8-1/2"x14"、長尺、はがき</p> <p>原稿の向き たて、よこ</p> <p>両面原稿 片面、よことし、たてとし</p>
大量原稿モード	有効、無効
白紙飛ばし	無効、白紙を飛ばす、白紙と裏写り原稿を飛ばす

※1 機種によっては、スキャナー機能拡張キットが必要です。

※2 機種によっては、OCR機能拡張キットが必要です。

※3 OCR機能が標準で使用できる機種やOCR機能拡張キットが装着されている機種では、この項目は表示されません。

※4 機種によっては、スキャナー機能拡張キットおよびOCR機能拡張キット装着が必要です。

※5 機種によっては、選択できるサイズが制限される場合があります。



- 送信されるメールはGmailやExchangeサーバーの設定や仕様に従って制限を受ける場合があります。
- デジタル複合機を利用するネットワーク環境によっては、GmailやExchangeへの接続機能をご利用できない場合があります。また、ご利用になれる場合でも、送信に時間がかかる場合や、または途中で途切れる場合があります。
- 当社は、GmailやExchangeとの接続機能の継続性、接続の安定性などについて、一切保証いたしません。またこれにより、お客様に生じた損害については、法令上賠償責任が認められる場合を除き、当社は一切その責任を負いませんので、あらかじめご了承ください。

クラウドコネクターやE-mailコネクターの設定を行う

ここでは、クラウドコネクター機能やE-mailコネクター機能を使用する前に、あらかじめ必要な設定について説明します。

クラウドコネクターやE-mailコネクターを有効にする

使用したいクラウドコネクターやE-mailコネクターを有効にしてください。

(1) 「設定 (管理者)」の [システム設定] → [Sharp OSA設定] → [外部連携] を選択する

「外部連携」ページが表示されます。

(2) 使用したいコネクターを選び、[有効にする] キーをタップする

選択したコネクターが、ホーム画面上に表示されます。

また、システム設定の [Sharp OSA設定] の [一般アプリケーション設定] や [組み込みアプリケーション設定] に有効にしたクラウドコネクターやE-mailコネクターの機能が登録されます。



アプリケーション通信機能が標準機能の機種または、アプリケーション通信キットが装着されている機種では、SharePoint Online、OneDrive、Google Driveの項目が表示されます。

コネクターの初期設定を変更する

クラウドサービスとの接続に必要な設定や、コネクターの初期値を設定します。

(1) 「設定 (管理者)」の [システム設定] → [Sharp OSA設定] → [組み込みアプリケーション設定] メニューを選択する

「組み込みアプリケーション設定」ページが表示され、インストールされているコネクターが表示されています。

(2) 設定したいコネクターをタップする

「組み込みアプリケーション情報」ページが表示されます。

(3) [詳細設定] ボタンをタップする

詳細設定の画面が表示されます。

必要な項目を設定して、[登録] をタップしてください。



[エクスポート/インポート] を使用すると、現在の組み込みアプリケーションの設定を保存したり、またその設定を取り込むことができます。

各コネクターの「詳細設定」項目

Google Drive

ファイル名

保存するデータのファイル名を設定します。

ファイル名に日付を含める

ファイル名の後に保存した日付をつけるかを設定します。

OneDrive

ファイル名

保存するデータのファイル名を設定します。

ファイル名に日付を含める

ファイル名の後に保存した日付をつけるかを設定します。

SharePoint Online

ドメイン名

SharePoint Onlineコネクタ機能を使用するときに設定します。

契約しているMicrosoft 365のドメイン名 (*****.onmicrosoft.comの*****部)を入力してください。

サイトURL

SharePoint Onlineサーバーのサブサイトやサイトコレクションに接続する場合は、URLを入力してください。

ファイル名

保存するデータのファイル名を設定します。

ファイル名に日付を含める

ファイル名の後に保存した日付をつけるかを設定します。

グローバルアドレス検索

Exchange Onlineに接続して使用する際に、グローバルアドレスリストを用いたアドレス検索を行う場合は、「許可」を選択してください。



「グローバルアドレス検索」で「許可」を選択後にExchangeコネクタを使用するには、「[Exchange Online: 管理者の承認操作を行なう \(13ページ\)](#)」にある操作を行ってください。

Gmail

件名

メールを送信するときの件名を設定します。

本文

メールを送信するときの本文を設定します。

ファイル名

保存するデータのファイル名を設定します。

ファイル名に日付を含める

ファイル名の後に保存した日付をつけるかを設定します。

Exchange online

ホスト名

Exchangeサーバーのホスト名 (FQDN) を入力します。

Exchange Onlineを使用する

Exchange Onlineに接続する場合は にしてください。

件名

メールを送信するときの件名を設定します。

本文

メールを送信するときの本文を設定します。

ファイル名

保存するデータのファイル名を設定します。

ファイル名に日付を含める

ファイル名の後に保存した日付をつけるかを設定します。

外部連携用の認証情報をキャッシュする

ユーザー認証が設定されている場合で、[ユーザー情報を本体に保存する] が有効になっているときに設定できます。
「設定 (管理者)」→ [システム設定] → [認証設定] → [初期設定] → [外部サービス連携用の認証情報をキャッシュする] で設定します。

クラウドコネクタ用の認証情報をキャッシュ情報として保持するかを設定します。

この設定が有効の場合、一度認証に成功したユーザーは認証情報が保持されているので、再度ログインするときにスムーズに認証されます。

この設定が無効の場合、すでに保持されているすべてのユーザーのクラウドコネクタ用の認証情報は消去され、以後、認証情報は保持されなくなります。



クラウドコネクタのキャッシュ情報を削除するには

「設定 (管理者)」→ [ユーザー管理] → [ユーザー設定] → [ユーザーリスト] → [自分の外部サービス連携用の認証情報を削除] を設定すると、ログインしているユーザーが使用している外部コネクタ用のキャッシュを削除します。

「設定 (管理者)」→ [ユーザー管理] → [ユーザー設定] → [ユーザーリスト] → [外部サービス連携用の認証情報を全削除] で、設定すると、すべての外部コネクタ用のキャッシュを削除します。

Exchange Online: 管理者の承認操作を行なう

Exchange Onlineに接続し、グローバルアドレス検索機能を使用するには、Microsoft Azure管理者ユーザーによる承認操作が必要です。



お客様のMicrosoft 365テナントに複数の当社複合機が設置されている場合、一台の複合機で承認操作をして頂ければ、他の複合機を使用する際の承認操作は不要です。

(1) ホーム画面の[Exchange Connector]キーをタップする。

Exchange Onlineのログイン画面が表示されます。

(2) Microsoft 365テナント管理者ユーザーのユーザー ID/パスワードを入力する。

Exchangeコネクターに必要なアクセス許可一覧が表示されます。

(3) 画面内の「組織の代理として同意する」をチェックする。

(4) 「承諾」キーをタップする。

この操作により、お客様のMicrosoft 365のすべてのユーザーがExchangeコネクターを使用可能になります。



上記承認操作の(3)で、「組織の代理として同意する」をチェックせずに「承諾」キーをタップすると、管理者以外のユーザーはExchangeコネクターを使用できません。

この場合、Microsoft 365のテナント管理者はAzureポータルページにアクセスし、「承認済みアプリ」から「Exchange Onlineコネクター (Exchange Connector(Sharp))」を削除する必要があります。

削除後に、上記の承諾操作を再度行ってください。

Application Portalについて

Application Portalでは、複合機の操作画面からApplication Portal専用のクラウドサーバーにアクセスし、サーバーに登録されているアプリケーションを複合機にダウンロード・インストールします。

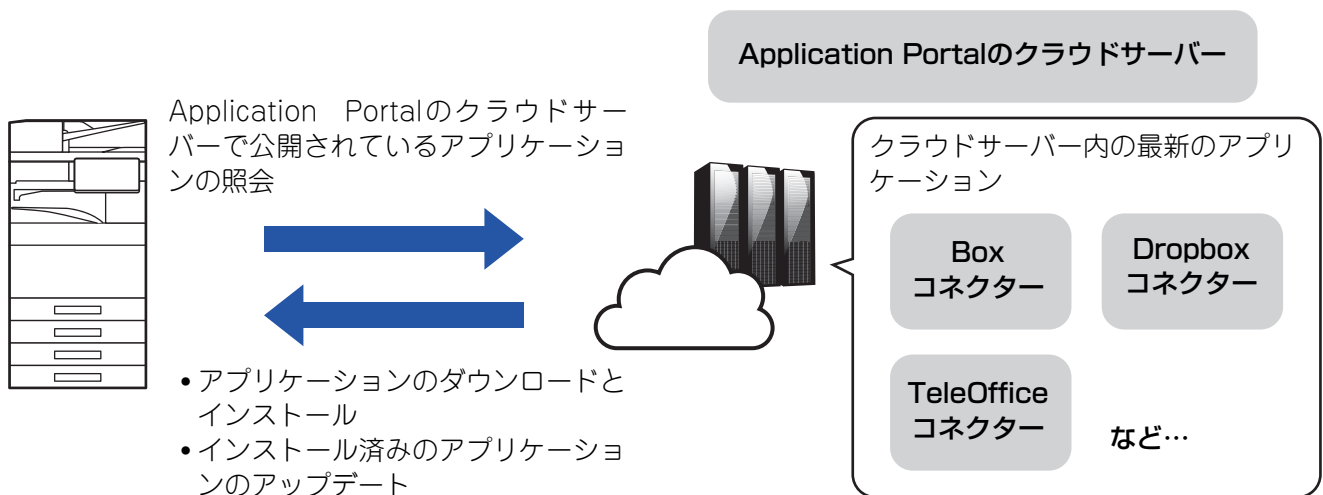
インストールしたアプリケーションは、Application Portalでアップデートすることができます。

Application Portalでインストールできるアプリケーションは、Boxコネクター、Dropboxコネクター、TeleOfficeコネクターなどがあります。

また、複合機のシステム設定でインストールできるクラウドコネクターやE-mailコネクターなどのアプリケーションや、Application Portal機能自身も、Application Portalからアップデートすることができます。



- インストールできるアプリケーションは、変更される場合があります。Application Portalでインストールできる最新のアプリケーションを確認してください。
- アプリケーションの起動方法や使用方法について、Google Drive、OneDrive、SharePoint Online、Gmail、Exchange onlineは、「[クラウドコネクターについて \(4ページ\)](#)」、「[GmailやExchangeからスキャンデータを送信する \(E-mailコネクター機能\) \(7ページ\)](#)」を参照してください。
Boxコネクター、Dropboxコネクターなどのアプリケーションについては、それぞれのアプリケーションの取扱説明書を参照してください。



Application Portalを使用する



Application Portalを使用する前に、あらかじめ「[Application Portalの設定を行う \(20ページ\)](#)」を参照し、「Application Portal」を有効にしてください。

1

ホーム画面の [Application Portal] キーをタップする

管理者パスワードの入力画面が表示されたときは、管理者パスワードを入力してください。


初めてApplication Portalを起動させたときは、初回起動時の画面が表示されます。

初回起動でない場合は、手順3へ進んでください。

2

複合機が常にApplication Portalのクラウドサーバーにアクセスし、更新情報の確認をするかしないかの設定を行う


この設定を有効にした場合、定期的にApplication Portalのクラウドサーバーにアクセスし、インストールしたアプリケーションに更新情報がないか確認を行います。

更新情報がある場合、Application Portalアイコンの右上に  マークが付きます。



- この設定は、あとからでも設定することができます。

▶ [Application Portalの設定を行う \(20ページ\)](#)

- 更新情報の確認頻度は1日に1回程度です。そのため、更新情報がある場合でも、 マークが表示されていない場合もあります。

3

Application Portalの機能自身に更新情報があったときは、アップデート確認画面が表示されるので、指示に従って、Application Portalをアップデートする

更新を行ったあと、ホーム画面に戻ります。

更新後は、再度手順1より始めてください。

4

Application Portalのクラウドサーバーにあるアプリケーションの一覧画面が表示されるので、各アプリケーションの詳細の確認や、アップデート、インストールなどを行う

それぞれの操作方法については、参照先を確認してください。

▶ [アプリケーションの詳細を確認する \(17ページ\)](#)

▶ [アプリケーションをインストールする \(18ページ\)](#)

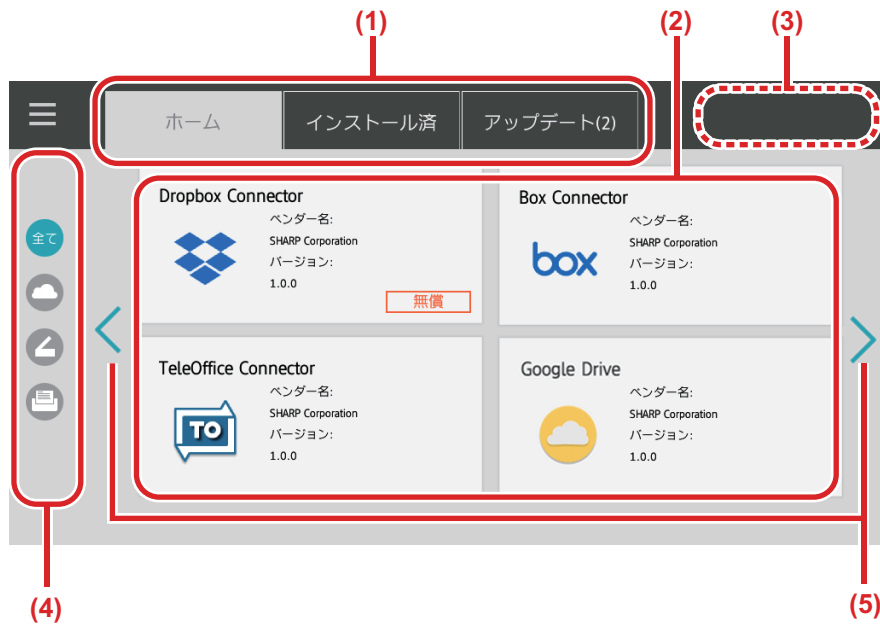
▶ [アプリケーションをアップデートする \(19ページ\)](#)

5

操作を終了後は、複合機の[ホーム画面]ボタンを押して、Application Portalを終了する

Application Portalの画面について

Application Portalを起動すると、公開されているアプリケーションの一覧画面が表示されます。



(1) タブ

タブをタップすると、Application Portalクラウドサーバーで公開されているアプリケーション（「ホーム」タブ）、複合機にインストール済みのアプリケーション（「インストール済」タブ）、アップデートが可能なアプリケーション（「アップデート」タブ）の一覧画面が表示されます。それぞれのタブをタップして表示を切り替えます。

(2) アプリケーション一覧/アプリケーション詳細画面

アプリケーションの一覧が表示されます。この画面でアプリケーションをタップすると、アプリケーションの詳細が表示されます。ここからアプリケーションのインストールやアップデートを行います。

(3) 【全て更新】キー

アップデート可能なすべてのアプリケーションを一括でアップデートします。

(4) カテゴリー切り替えキー

アプリケーション一覧に表示されているアプリケーションをカテゴリーごとに絞り込むキーです。タップすると、カテゴリーに分類されるアプリケーションのみが表示されます。

(5) 表示ページ切り替えキー

ページを切り替えます。



【全て更新】キーは「アップデート」タブをタップしたあとに表示されます。

アプリケーションの詳細を確認する

ここではアプリケーションの詳細を確認する方法について説明します。

1

[Application Portalを使用する（14ページ）](#) の手順4までを行う

2

[ホーム]、[インストール済]、[アップデート] のタブで確認したいアプリケーションを表示し、タップする

タップしたアプリケーションの詳細画面が表示されます。

3

確認し終わったら、[ホーム画面] ボタンを押して、Application Portalを終了する

詳細画面で確認できる項目

詳細画面では、次の内容が確認できます。

- アプリケーション名
- アプリケーションアイコン
- ベンダー名
- 最新バージョン
- リリース日
- 説明文
- 更新履歴
- 紹介画像
- 複合機が表示している言語と対応しているか

また、この画面でアプリケーションのインストールやアップデートを行います。

インストールボタン

アプリケーションがインストールされていない場合に表示されます。すでにアプリケーションがインストールされているときは、[インストール済みボタン] ボタンに表示が切り替わります。

インストール済みボタン

アプリケーションがインストール済みの場合に表示されます。

アップデートボタン

アプリケーションがインストール済みで、アップデートがある場合に表示されます。



- 一般アプリケーションおよび組み込みアプリケーションの登録枠がすでに埋まっている場合は、新規でアプリケーションをインストールできません。アプリケーションをインストールしたい場合は、一般アプリケーションまたは組み込みアプリケーションから不要なアプリケーションを削除してください。
- 一般アプリケーションまたは組み込みアプリケーションを設定するには
「設定（管理者）」 → 「システム設定」 → 「Sharp OSA設定」 → 「一般アプリケーション設定」 または 「組み込みアプリケーション設定」 で設定します。

アプリケーションをインストールする

ここではアプリケーションをインストールする方法について説明します。

1

[Application Portalを使用する \(14ページ\)](#) の手順4までを行う

2

【ホーム】のタブでインストールしたいアプリケーションを表示し、タップする
タップしたアプリケーションの詳細画面が表示されます。

3

【インストール】ボタンをタップする

選択したアプリケーションをダウンロードし、インストールを開始します。
画面では、ダウンロードの進行状況、インストールの進行状況が表示されます。
ダウンロードを中止したいときは、**【中止】** ボタンをタップしてください。

4

アプリケーションの詳細画面で【インストール】ボタンが【インストール済み】ボタンに切り替わっていることを確認する

インストールが終了すると、一般アプリケーション設定にインストールしたアプリケーションが登録されます。
また、ホーム画面にインストールしたアプリケーションのアイコンが登録されます。



- ホーム画面のアイコンの表示領域がすべて埋まって、アイコンが追加できない状態でアプリケーションをインストールすると、インストールしたアイコンは、ホーム画面に追加されません。
- Google Drive、OneDrive、SharePoint Onlineを使用したクラウドコネクタ、Gmail、Exchange onlineを使用したE-mailコネクタのアプリケーションは、複合機にあらかじめプリインストールされています。クラウドコネクタやE-mailコネクタを使用する場合は、「[クラウドコネクタやE-mailコネクタの設定を行う \(11ページ\)](#)」を参照してください。

インストールに関して

- インストール中は、他のアプリケーションのダウンロードやインストールはできません。また、複合機を使用した操作はできません。
- ネットワーク障害など、不測の事態が起こってインストールが中断された場合は、インストール画面からアプリケーションの詳細画面に戻ります。
- インストールを中止したときや、不測の事態で中断されたときは、複合機はインストール前の状態に戻ります。

アプリケーションをアップデートする

ここではアプリケーションをアップデートする方法について説明します。アプリケーションのアップデートには個別でアップデートする方法と一括でアップデートする方法があります。

個別にアプリケーションをアップデートしたい場合

1 [Application Portalを使用する（14ページ）](#) の手順4までを行う

2 [アップデート] のタブでアップデートしたいアプリケーションを表示し、タップする
タップしたアプリケーションの詳細画面が表示されます。

3 [アップデート] ボタンをタップする
選択したアプリケーションをダウンロードし、アップロードを開始します。
画面では、アップデートのダウンロードの進行状況、アップロードの進行状況が表示されます。
アップデートを中止したいときは、[中止] ボタンをタップしてください。

4 アプリケーションの詳細画面で [アップデート] ボタンが [インストール済み] ボタンに切り替わっていることを確認する

一括でアプリケーションをアップデートしたい場合

1 [Application Portalを使用する（14ページ）](#) の手順4までを行う
上記の手順では、[アップデート] タブをタップしてください。

2 [全て更新] キーをタップする
アップデートできるアプリケーションを一括でアップデートします。

アップデートに関して

- アップデート中は、他のアプリケーションのダウンロードやアップデートはできません。また、複合機を使用した操作はできません。
- ネットワーク障害など、不測の事態が起こってアップデートが中断された場合は、インストール画面からアプリケーションの詳細画面に戻ります。
- インストールを中止したときや、不測の事態で中断されたときは、複合機は中断したときの状況によって2つのパターンが起こります。
 - アップデートのデータをダウンロード中に中断した場合は、アップデート前の状態に戻ります。
 - アップデートのデータをダウンロード後、アプリケーションのアップデートを行っているときに中断した場合は、アップデート中のアプリケーションをアンインストールし、組み込みアプリケーション、一般アプリケーションからアプリケーションを削除します。またホーム画面に登録されたアイコンを削除します。再度アプリケーションをインストールし直してください。

Application Portalの設定を行う

「設定（管理者）」 → [システム設定] → [Sharp OSA設定] → [Application Portal 設定] で設定します。

Application Portal

Application Portalを使用するかを設定します。

無効にしたときは、Application Portalのアイコンが非表示になり、Application Portalが使用できなくなります。

また、アプリケーションのアップデートの確認も行いません。

アプリケーションのアップデートの通知を受信

アプリケーションのアップデートの通知を行うかを設定します。

無効にした場合は、アプリケーションのアップデートの確認を行わず、ホーム画面にもアップデートの通知のアイコンが表示されません。



Application Portal設定自体が表示されない場合、お買いあげの販売店、またはスタートガイドに記載のシャープお客様ご相談窓口までご連絡ください。

シャープ株式会社